

公告用文書

2022年7月末日

水戸医療センター病院に通院中の患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】2017年4月1日～2022年12月31日の間に、急性期脳主幹動脈閉塞と診断された方、または急性期脳主幹動脈閉塞が疑われ救急搬送された方

【研究課題名】茨城県のELV0 (Emergent Large Vessel Occlusion) スクリューンによる主幹動脈閉塞搬送システム導入による臨床転帰に与える影響について
後方視的検討

【研究の目的】脳主幹動脈閉塞に対する血栓回収療法は複数のランダム化試験によりその効果が証明された。迅速な治療が転帰改善の鍵となるが、治療体制の整備とともに、搬送時間短縮も良好な転機を得るために重要である。茨城県では2021年4月から脳主幹動脈閉塞症例に対してELV0 (Emergent large vessel occlusion) スクリューンによる搬送システムが導入され、脳主幹動脈閉塞が疑われる症例は血栓回収可能施設に直接搬送されることとなった。同システム導入前後での治療実態、臨床転帰の影響を検討する。

【利用するカルテ情報・資料】

診断名、年齢、性別、既往歴、画像検査、治療内容、治療経過、臨床転帰

【研究期間】2022年7月末日（院内倫理委員会承認日）より2022年12月31日まで（予定）

【機関の名称及びその長の氏名】水戸医療センター脳神経外科 加藤徳之

【研究代表者】水戸医療センター脳神経外科 山崎友郷

【試料・情報の管理についての責任者】水戸医療センター脳神経外科 山崎友郷

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は当院においては研究終了後10年間保存いたします。

【問合せ先】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または御自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年12月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

水戸医療センター脳神経外科 担当医師：山崎友郷
電話：029 (240) 7711 (病院代表)